公益財団法人 九州先端科学技術研究所 活動少ポート

ISIT:Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

編集 事業支援部



ISIT

■ SRP-OIL 開設から半年で来場 1000 名突破P1	■福岡銀行と
■エンジニア フレンドリー シティ福岡 キックオフイベント開催P2	■未来の科学
■福岡都市圏自治体が連携したオープンデータの公開P2	■日本分析化:
■福岡市IoTコンソーシアム (FITCO) 活動中P3	■市民講演会 新
■吉永 崇IAが2年連続受賞の快挙!! Microsoft MVP AwardP3	■九州経済連
■「第3回洗浄技術セミナー」及び「出張よろず相談会」を開催P4	■ ISIT からのる
■ 有機光エレクトロニクス産業化研究会開催P4	■賛助会員≪流
■ 理研 × 九大 × 福岡市・ISIT 三者連携シンポジウム開催	■ 賛助会員募
■ 衛星データプラットフォームを促進するアライアンスに参加P5	

■福岡銀行と産学共創コンソーシアム推進協定を締結	.P5
■未来の科学者が先端研究と分析機器を先取り体験	P6
■日本分析化学会九州支部 分析化学講習会 開催支援	.P6
■市民講演会 新技術を活用し地域で子どもの安全安心な通学確保を.	.P7
■九州経済連合会インターンシップ生 受入れ	.P7
■ISITからのご報告	.P8
■替助会員≪法人・個人≫のご紹介	.P8

SRP Open Innovation Lab 開設から半年で来場1000名突破



ISITと(株)福岡ソフトリサーチパークが SRP Open Innovation Labを共同で設置し運営を始めて から、半年が経ちました。AI・IoTやAR・VRなど最新技術の体験・相談・交流などの場の提供や 技術者育成など、地域への貢献を目指し、さまざまな活動を進めています。

若手社員教育を目的にショールーム体験を希望される民間企業や、オープンイノベーションの取組みを 参考にされる自治体、その他の団体での視察など、国内外から多くの方々が来訪しております。(いずれ も実績は平成30年10月31日現在)

■定期セミナーの開催

これまでの開催は27回を数え、参加者は延べ230名を超え ました。AI/IoT/AR・VRなどに関する最新の技術動向を講義 形式でお伝えするもの、ハンズオン形式で手を動かして技術習 得を支援するものなど、毎回参加者の期待に沿えるよう工夫を 凝らして企画しています。7月からは、「SOIL水曜セミナー」と 銘打ち、毎週水曜に定期開催しています。詳細はFacebookへ。 https://www.facebook.com/SRPOIL/



SOIL水曜セミナーの様子

■地域コミュニティや事業者の有効活用

ITの力で地域課題を解決するシビックテック活動でISITも参加する "Code for Fukuoka" が、当ラ ボを拠点に、12月のアーバンデータチャレンジ(UDC)への挑戦に向けて活動しています。

また(株)シティアスコム企画の「小学生向けプログラミング教室」や羽立幸司弁理士企画の「ビジ ネスモデルに活かすためのAIとの共創を目指す発明思考(アイデア発想支援)セミナー・ワークショップ」 など、地域の事業者主催のイベント会場としても幅広くご利用いただいています。

■Fukuoka Growth Nextへの展開

ISITは、福岡地域戦略推進協議会 (FDC) と連携し、10月にFukuoka Growth NextのFDC大 名オフィス内(中央区大名二丁目6-11 #305-306、TEL070-4446-2031 要予約)に、当ラボで展示 するショールームコンテンツの一部を体験いただける新たな拠点を開設しました。ぜひご来場ください。

エンジニアフレンドリーシティ福岡 キックオフイベントを開催



エンジニアフレンドリーシティ福岡とは、エンジニアと福岡市が協力し、エンジニアがここで働きたいと 思うようなまちづくりを目指すムーブメントです。ISITは、福岡市、特定非営利活動法人QUESTとエン ジニアフレンドリーシティ福岡推進協議会を設立し、事務局としてエンジニアコミュニティの見える化やエン ジニアのモチベーションアップ、またエンジニアと多くの業種の企業や学校、学生との連携等に繋がる取 組みを進めます。https://efc.isit.or.jp/

8月20日(月)には、キックオフイベントをFukuoka Growth Nextにて開催。250名を超えるエンジ ニアや学生が集まり、急遽サテライト会場を設置するほどの大盛況となりました。髙島宗一郎市長のエン

ジニアフレンドリーシティ福岡に対する思いの言葉に 始まり、地元のエンジニアや企業からのメッセージ を経て、市長の「エンジニアフレンドリーシティを宣 言します! の掛け声で全員集合の記念撮影。後 半は、「えふしん」こと藤川真一氏の講演や、市長 を交えたトークセッション、そして最後は、自分たち の活動をPRしたいというコミュニティの皆さんの熱い ライトニングトークで終了しました。



福岡都市圏自治体が連携したオープンデータの公開

平成30年10月1日

福岡都市圏17自治体がオープンデータを公開する専 用サイト「福岡都市圏オープンデータサイト」を新たに開 設しました。これにより、平成26年10月に開設済の福岡 市に続き、福岡都市圏のすべての自治体において、オー プンデータサイトが開設されたこととなります。

行政が保有するデータを営利・非営利を問わず二次 利用可能なルールで公開する「オープンデータ」の取組 みでは、利便性の向上や地域横断的なデータ利用の促 進のため、複数の地方自治体の連携が期待されています。 福岡都市圏17自治体は、ISITが事務局を務める九州 オープンデータ推進会議・福岡都市圏WGで自治体間 の連携について1年かけ検討し、平成30年10月1日か らオープンデータの公開を開始しました。

まずは、「指定避難所・指定緊急避難場所一覧」、「人 口統計(公称町・大字・行政区別)|、「公立小中学校 児童・生徒数(学校別)」の3つのデータについて、共 通フォーマットを使用しデータを公開します。これにより、 利用者は広域かつ複数のデータの分析や活用をしやすく なります。



http://odcs.bodik.jp/fukuoka-toshiken/

またISITは、自治体がオープンデータを公開するためのデータカタログサイトを無償で提供するクラウド サービス「BODIK オープンデータカタログサイト(ODCS) を運営し、今回の公開でも利用されています。 当サービスを利用することで、比較的小規模な自治体でもオープンデータの取組みを始めやすくなります。

福岡市 IoT コンソーシアム (FITCO) 活動中

ISIT は、福岡市 IoT コンソーシアム (構成:事業者・大学・金融機関等251 団体、個人119名、代表: 村上和彰九州大学名誉教授)の事務局を担い、IoT 関連分野における新製品・サービスの創出を促 進し、事例や知見を共有する諸活動を行っております。 http://www.fitco.jp/

■全体総会開催(6月13日 福岡 SRP センタービル)

活動方針の決定と各WGの連携を促進するために全体総 会を開催し、68名が参加しました。新しいWGの発足とホー ムページでの製品(サービス)紹介の拡充、企業間マッチ ングの支援に重点を置いた取組みの推進が確認されました。

■ビジネスショウ&エコフェア2018 出展

(6月20日・21日 福岡国際センター)

ISITとFITCO会員で16ブースを出展し、新たなビジネス モデル創出を目指した技術・製品・サービスなどの展示・実 演を行いました。ISITはAR/VR体験コーナーを出展し、 人気を集めていました=写真右下。

■モノづくりフェア 2018 出展

(10月17日-19日 マリンメッセ福岡)

九州地域に12ある経済産業省選定「地方版IoT推進ラボ」 の一つとして、「福岡市 IoT推進ラボ」名義で出展し、九州 地域の一体的な取組みの中で、福岡市IoTコンソーシアムを 紹介しました。また「IoTビジネスフォーラム福岡 |のセミナーでは、 福岡市IoT推進ラボ及び関連活動について紹介しました。

■第3回ふくおかAI・IoT祭り in SRP

これまで多くの企業・団体にご参加いただいているこの催事を平成31年2月15日に福岡SRPセンター ビルにて開催予定。テーマを "AI × IoT × データ資本主義" で「新しい福岡」を創造する!とし、実 証報告と会員企業の展示ブース出展などを計画中です。詳細はメルマガ等でお知らせしますので、皆様 のご参加をお待ちしております。

吉永 崇IA が2年連続の快挙!! Microsoft MVP Award 受賞

平成30年7月

平成30年7月、吉永崇イノベーション・アーキテクト(以下IA)が、Microsoft 本社からMVP(Most Valuable Professional)Awardを昨年に続き受 賞しました。この賞はマイクロソフトの製品やテクノロジーに関する技術的か つ豊富な専門知識を習得し、その知識を様々なコミュニティの場で発信、 共有しながら活動している「個人」に与えられる賞です。受賞したカテゴリは、 Windows Development のカテゴリの中で、MR(Mixed Reality: 複合 現実感)という現実世界とCG・音等のデジタル情報を融合する技術につ いての活動が対象となります。これまで吉永 IA が取組んできた各地での勉 強会の開催や、イベント登壇、SNSやブログを用いた自身のノウハウや作 品の発信など、オン・オフライン両面からの活動が評価されたものです。

ビジネスショウ&エコフェア 2018 FITCO 会員ブース 出展者

- ・アルプス電気株式会社
- ・エヌエスティ・グローバリスト株式会社
- 株式会社パソナテック
- 公益財団法人 九州先端科学技術研究所
- ・有限会社アーパス
- ・株式会社ルックス
- 双日九州株式会社
- · 株式会社 Center Q
- 渡辺鉄工株式会社
- ・株式会社ニッセイコム
- · 日精株式会社
- ・クリーンアップ株式会社
- ・株式会社NTTデータ九州
- ・(一社)組込みシステム技術協会 九州支部
- ·株式会社E&I
- ・NECソリューションイノベータ株式会社





ふくおか産学共創コンソーシアム主催 「第3回洗浄技術セミナー」及び「出張よろず相談会」を開催

平成30年10月19日

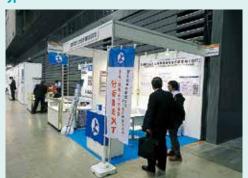
ふくおか産学共創コンソーシアム(事務局:ISIT)は、技術セミナーの一つとして、企業等のものづくり・研究 開発において重要な技術である「洗浄」をテーマとしたセミナーを定期的に開催しています。3回目となる今 回は、超微量成分の分析という切り口で、モノづくりフェア2018会場内セミナールームにおいて開催しました。

講師に超微量成分分析のプロフェッショナルとして知られる九州大学名誉教授の吉村和久氏を迎え、 分析を可能とするための数々の洗浄・汚染を防ぐ基礎と、それを前提として可能となる超微量分析の実 際をわかりやすく紹介していただきました。60名余の参加を得るなど反響も大きく、具体的な案件を相談 したいとの声も聞かれました=写真左下。

併せて、ふくおか産学共創コンソーシアムとよろず相談分析NEXTの紹介を同フェアの展示ブースで行 い、実際に相談に応じるなどによるPR活動を行いました=写真右下。

詳しくは、同コンソーシアムのサイトhttp://fiac2.isit.or.jp/をご覧ください。





有機光エレクトロニクス産業化研究会 開催

平成30年6月7日

ISITは、福岡県、福岡市及び福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)とともに、有機光エレクトロ ニクス産業化研究会を開催しております。

有機ELをはじめとする電子デバイスの実用化においては各技術の高度化に伴い、大学・企業など単独 での開発が困難な状況となっています。このため、12回目となる今回はテーマを「OLED注技術における産学 官連携」とし、産学官連携を積極的に進めている大学・企業から講師を招いて有機EL等に関する先進的な 事例を紹介していただくこととしました。 注:OLED(Organic Light-Emitting Diode) = 有機EL(Organic Electroluminescence)と同義

当日は、75名の参加を得、産学それぞれから報告がなされたほか、ふくおかISTが昨年度創設した有機 EL分野参入促進支援補助金を紹介するコーナーを設け、補助金制度の紹介や、当該補助金を受けた企 業が制作したデジタルサイネージ(有機EL使用)を組み込んだパネルの展示等を行いました。

詳しくは研究会サイト http://www.i3-opera.ist.or.jp/industrialize.html をご覧ください。

講演

第12回 有機光エレクトロニクス産業化研究会

- ・「CEREBA における有機EL分野での産学連携」 次世代化学材料評価技術研究組合(CEREBA)研究部
 - 有機ELグループGM 棚村 満 氏
- ・ 「コニカミノルタにおける産官学連携の取り組みについて」 コニカミノルタ株式会社
 - 技術フェロー 開発統括本部要素技術開発センター長 北 弘志 氏
- ・ 「有機エレクトロニクスイノベーションセンターにおける産学連携の取り組み」 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター





ふくおかIST (i3-OPERA) の研究内容の紹介

ふくおか IST 有機 EL 参入促進支援補助金制度紹介、同補助受給企業製作の有機 EL 使用デジタルサイネージ

九州大学と理化学研究所(理研)の連携を多様な分野の学際的連携として展開し、さらには福岡市 における産学官連携へと発展させることを目的に、平成30年5月15日、ISITは福岡市・九大・理研と ともに三者連携シンポジウムを伊都キャンパスで開催し、久保千春 九州大学総長、小寺秀俊 理研理事、 貞刈厚仁 福岡市副市長をはじめ、企業や研究機関等から200名を超える方々に参加いただきました。

既存の分野間連携にとどまらず、さらに多くの分野での連携可能性を模索するため、今回はシンポジ ウムのテーマを「数理・AIが解く未来~計算科学の展望と期待~」とし、数理・AI活用の将来ビジョン、 数学者の視点で見た産業への活用例、ライフサイエンス領域への応用例について、九大、理研、企業 の各界から基調講演と報告がなされました。

また、後半のパネルディスカッションでは、村上和彰 元ISIT副所長をモデレーターに迎え、九大、理研、 産業技術総合研究所の研究者でビッグデータに基づくAI活用の可能性について議論が行われました。

この三者連携の枠組みによる次回の催事は、平 成31年3月6日(水)午後、福岡市内にて開催 予定で、AIやビッグデータ・オープンデータ、IoT などを企業活動や産業にどう活用していくかという観 点から、「データ・サイエンス」をテーマとして、企 業による活用事例の紹介と九州大学と理研の研究 者による講演、意見交換等とあわせて行います。 詳細はISITホームページ等でお知らせします。



日本初 衛星データプラットフォームの開発・利用促進を行う 「xData Alliance」に参加

平成30年7月31日

ISITは、BODIK(ビッグデータ&オープンデータ・イニシア ティブ九州) の活動として、日本初の政府衛星データプラットフォー ムである「Tellus」の開発および利用促進を目的に設立された 「xData Alliance」(クロスデータアライアンス) に参加しました。

リーダーには、東京大学 空間情報科学研究センター 教授の 柴崎 亮介氏が就任し、ISITや宇宙産業関連企業を含めた21 の事業者・研究機関・団体で活動を開始しています。

ISITは、BODIKで推進中の九州地方そして全国自治体の



オープンデータを中心として、この衛星データの組み合わせによる新たな価値の創造を図ります。

福岡銀行とふくおか産学共創コンソーシアムの 推進にかかる協定を締結

平成30年10月10日

ISITと株式会社福岡銀行は、地域におけるイノベーション実現と地域経済の発展などを目的としたふく おか産学共創コンソーシアムの主旨に沿い、その活動を促進していくため、連携協定を締結しました。

協定には、ISITや九大が行う分析機器を活用したコンサルティング事業「よろず相談分析 NEXT | に同行が地域の企業からの技術相談の取り次ぎを行うことや、双方の産学交流の催事に相互協力する ことなどが盛り込まれ、これらにより、研究資源の社会的活用の促進と、ものづくり企業への技術支援を 通じた地域活性化への寄与が期待されます。

未来の科学者が先端研究と分析機器を先取り体験

ISIT が入居する福岡市産学連携交流センター (FiaS) は、普段は企業や大学の研究者や関係者な ど限られた者しか出入りの無い静かな空間ですが、今年も夏休み期間中には、次世代を担う小中学生 や高校生で賑わいました。

■小中学生向け夏休み体験実験

8月4日、ISITは九州大学未来化学創造センター及び福岡 市産学連携交流センターと協力し、市民に向けた産学連携につ いての理解促進の一環として、小中学生向け夏休み体験実験 「ふしぎなプラスチックの科学」を共同で開催しました。ISITは 電子顕微鏡体験に協力し、小中学生と保護者を対象に、何度 でも貼り直しができる付箋紙の秘密「球状粘着剤」の形や、メ ラミンスポンジと普通のスポンジとの繊維の太さや孔の大きさの 違いなどを電子顕微鏡を使って観察し、身近な材料や素材に 使われている化学について、親子で理解を深めてもらいました。



■進路指導の一環による生徒の見学

大学の見学などを兼ねた学校の進路指導の一環として、多 くの生徒が夏休み期間中に、ISITマテリアルズ・オープン・ ラボなどを訪れました。

8月4日には宮崎県の宮崎第一高等学校から高校生15名 と引率の先生1名が、8月29日には沖縄県の昭和薬科大学 附属高等学校・中学校の高校生・中学生27名と引率の先生



3名が来訪。生徒たちは、試作中の有機ELデバイスに触れたり、金コロイドのデモ実験を見学したりし、 また電子顕微鏡などの分析機器を実際に操作し材料を観察するなど、学校では体験できない機会を得て、 化学を専攻することについて具体的なイメージを掴んでいたようでした。

ISITは、高校等による進路指導の一環による研究所見学も受け入れております。日程など条件により 受け入れの可否が左右されますので、ご希望の際には早めにISITにご相談ください。

日本分析化学会九州支部 分析化学講習会 開催支援

日本分析化学会九州支部の主催による分析化学講習会 が、例年8月に市内各大学・各キャンパスで開催され、福岡市産 学連携交流センター(FiaS)も会場として提供されております。

今年度から、講習会の運営も各会場に任されるようになり ました。このためFiaSで8月7日と9日に開催された核磁気共 鳴分光法(NMR)及び電子顕微鏡(SEM/TEM)の各講義 と実習にあたり、ISITはFiaS分析機器室とも協力して、ISIT 特別研究員や職員を講師や実習の助手として派遣するな ど、共催者として講習会が円滑な開催となるよう支援しました。



受講者が分析機器を実際に操作しながら学ぶ形式の講習会であったことから「分析装置の原理や解析 法など分かりやすく教わることができ非常に有意義であった」との参加者からの声が寄せられていました。

ISIT市民講演会 開催 新技術を活用し、地域で子どもの安全安心な通学確保を

IoTやオープンデータ・ビッグデータなどの技術を活用し、地域で子どもの安全安心な通学を確保する ことをテーマに市民向けに講演会を11月9日に開催し、33名が聴講しました。

まず、地域防犯や青少年健全育成などの分野で豊富な経験をお持ちで、福岡県安全安心まちづくりア ドバイザーの金子昌降氏が、子どもの安全安心確保のために地域で取り組めることをテーマに、来場者 も巻き込んでの実演を交えた講演を行い、共通認識を深めました。

その後、新技術の活用事例として、株式会社シティアスコムから福岡市内の多くの地域で普及している ICタグと防犯カメラを活用した学校防犯システムについて、また九州電力株式会社からは現在実証実験中 の端末と基地局による見守りプランについて、それぞれ紹介しました。ISITからは、東 富彦イノベーション・

アーキテクトが、県警の数万件にのぼる交通事故オー プンデータを分析し、地図上に落とし込むことで交通 事故のホットスポットを明確に示し対策を講じていくと いう、データ活用の手法について実例を示しながら 報告しました。(ISITの報告はホームページにも掲載)

デモ機に触れながらの活発な質問やアンケートで の様々な感想や提案からは、この分野に対する関 心の高さがうかがえ、加えて会場を福岡SRPセン タービルとしたことでSRP-OILに立ち寄る参加者も 多く、ISITや地域の企業の活動を市民に知っても らう好機となりました。



九州経済連合会インターンシップ生 受入れ

平成30年8月

ISITは、若手研究者や技術者の受け入れおよびインターンシップによる人材育成を行っています。今 年度はオープンイノベーション・ラボ(OIL)にて、福岡工業大学大学院工学研究科情報工学専攻1年 の鶴隆介さんをインターンシップ生として受入れました。OILでは、東富彦イノベーション・アーキテクト による指導のもとで、オープンデータの基礎知識の習得、機械学習(AIの一分野でありコンピュータ自 身が学習する技術)のモデル開発のほか、セミナーのティーチング・アシスタント、イベント参加活動等の 業務に従事してもらいました。インターンシップ最終日には、次の内容で成果報告発表を行い、分析の 結果は後日、福岡県警にもフィードバックを行いました。また、11月9日に開催した市民講演会においても、 これらの分析結果の一部を公表しております。

成果報告の要旨 http://www.isit.or.jp/news/intern/

福岡県警がオープンデータとして公開している過 去2年分の交通事故データを利用し、福岡市内に おける死亡・重症事故データについて、機械学習 ツールを用いてデータに似た特徴を持つグループに 分類する方法(クラスタリング)で7つのグループ に分類した。

そのうちの4種類の似た特徴を持つグループ(ク ラスター)が、死亡・重症事故の大半を占めてい ることを突き止め、各クラスターの事故発生条件や 当事者の属性を明らかにした。



発表する鶴さん(写真左)と聴き入る 〇IL メンバー

ISITからのご報告

■新海征治最高顧問が文化功労者に選出されました

ISIT最高顧問で、前 研究所長(平成20年4月~30年3月)の新海征治氏が、平成30年秋、文化功労者に選ばれ、顕彰式が平成30年11月5日に都内のホテルで行われました。

■ISITのホームページを全面リニューアル

平成30年7月、ホームページを一新しました。ISITの設立経緯や活動内容を分かりやすく説明する動画を新たに掲載したほか、ISITを身近に感じていただけるようスタッフ紹介のページをより見やすい内容と体裁に改めました。

■第32回研究顧問会議

平成30年6月4日に、池上研究顧問、池澤研究顧問、中村研究顧問、岩野研究顧問、新海最高顧問出席のもと、開催しました。開催内容についてはISITホームページをご覧ください。

賛助会員≪法人・個人≫のご紹介

新規賛助会員ご紹介〔種別・加入順〕

■大日本塗料株式会社 様

自然、社会、生活のすべてに配慮したクリーンな商品 を提供する「環境を彩る」企業です。

■新日本金属株式会社 様

電気のオンオフに不可欠な電気接点の専業メーカーとして50年以上の歴史があります。

■有限会社中島鍍金工業 様

貴金属めっきと無電解ニッケルに主力をおいております。

■一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 様

官民共同で設立された沖縄の産業支援機関で、ITイノベーションを活用し経済振興を図ります。

■株式会社IFECT 様

冬虫夏草を穀物培地から人工栽培し、新たな薬膳食 材として家庭料理の市場に参入していきます。

- ■羽立 幸司 様
- ■新海 征治 様

賛助会員のトピック紹介

■ブリッジインターナショナル株式会社 様 平成30年10月3日、東京証券取引所マザーズ市場に上場しました。

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

ISITの技術コンサルティング料金を割引

全員特典

コミュニティスペースや会議室で設備・備品が利用可能

会員特典

ISITホームページで紹介(リンク等)

会員特典

活動報告書、活動レポートの送付等

詳細はこちらまで! ISIT総務部

TEL:092-852-3450 • FAX: 092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。 メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

http://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/

発 行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

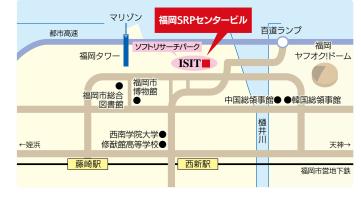
Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22 〈福岡SRPセンタービル7F〉

Fukuoka SRP Center Building 7F 2-1-22,Momochihama.Sawara-ku,Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450 ■ FAX 092-852-3455

■ URL: http://www.isit.or.jp ■ 制作: 株式会社西日本高速印刷





公益財団法人九州先端科学技術研究所

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

賛助会員入会のご案内

当財団の事業目的に賛同して頂ける方 (企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中

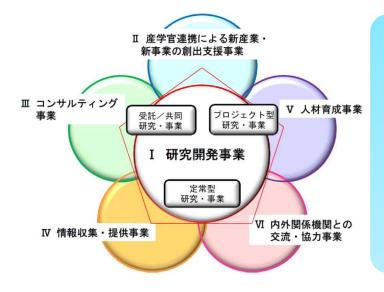
主な特典

- 1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
- 2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
- 3. ホームページで会員紹介(リンク等)
- 4. その他活動報告書や活動レポートの送付





当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。



産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・ イニシアティブ九州(BODIK事業)
- O SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業(分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細:<u>http://www.isit.or.jp/project/</u>



【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel: 092-852-3450 Fax: 092-852-3455

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル7階

ISIT

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 宛

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

	サーター サーター サーター ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ふりがな		
団体名 又は氏名	※法人会員の場合は団体名、個人会員の場合は氏名を正式名称でご記入ください。当研究所のWEBに掲載させていただきます。	
代表者氏名	※個人会員の場合は記載不要 F D	
住 所	〒	
電話番号	※法人会員の場合は代表番号をご記入ください。 FAX番号	
入会理由 ※複数選択可	1. 研究開発内容に関心あり 2. 共同研究/共同提案等の実施等 3. コンサルティング(技術相談等)の活用 4. セミナー・交流会等の活用	
	5. 情報収集等 6. その他()	
申込口数	※番号にOをつけて、申込み口数をご記入ください。	
メールアドレス	※各種セミナーや講習会などのご案内や賛助会員様への連絡等をお送りする宛先になりますので、必ずご記入ください。	
WebページURL	※当研究所のWEBでのリンク設定を希望されない場合は、口にチェックを入れてください http:// □当研究所の賛助会員ページに上記URLをリンクすることに同意しません。	
※団体(法人会員)での申込みの際は以下もご記入ください。		
担当部署名		
担当者名	電話番号	
備考		